

一般社団法人大阪市私立保育連盟
会 長 近藤 道
調査研究部部长 中面谷 俊宏

調査研究部

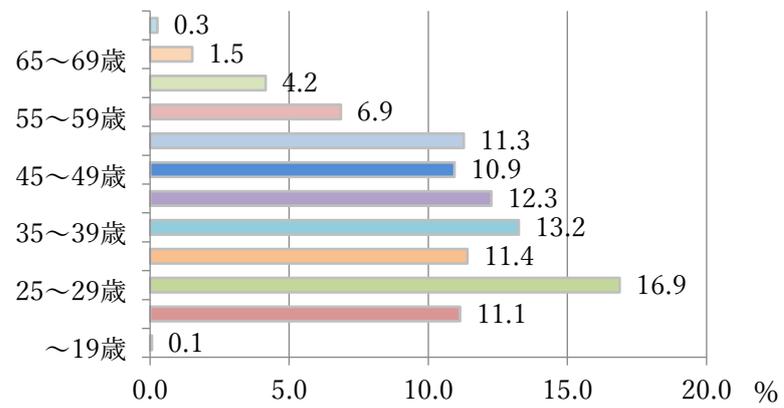
『保育施設で働く保育者のためのアンケート』結果報告

【調査目的と概要】

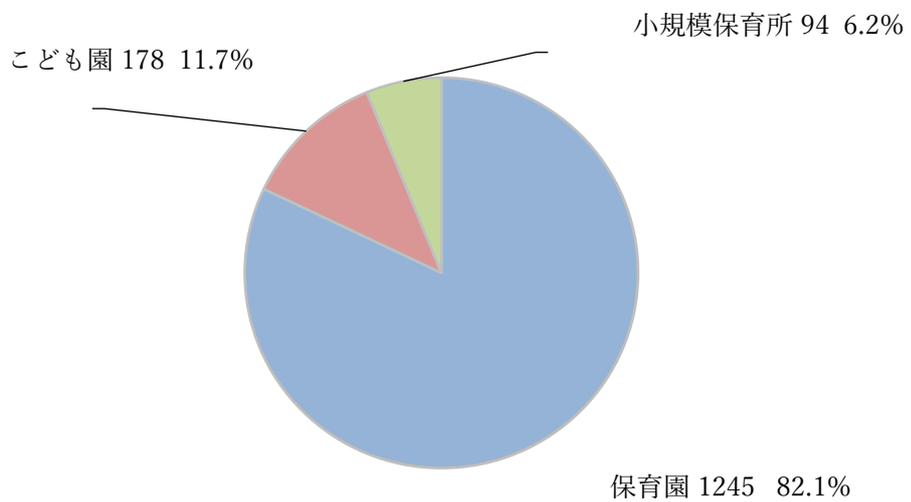
平成 25 年度ごろから顕著に現れたとされる保育士不足。その保育人材確保の難しさは深刻且つ大きな課題である。目の前にある人材確保も大切だが、長期的に安定した人材の確保と離職防止を図ることが、今後の施設運営に必要不可欠と考える。施設運営側の肌感覚での認知では無く、実際に大阪市内に勤務する保育者(保育士・保育教諭)の声を拾うことでその基礎データを蓄積し、法人・施設運営の一助となることを目的としたアンケートを実施。1500 件以上の回答を得ることができた。この調査結果について、大阪市との協議資料としても大いに活用し、且つ大阪市の施策へ反映されることを期待する。

期 間	令和 5 年 11 月 20 日から 12 月 7 日(延長期間含む)
対 象	大阪市私立保育連盟加盟施設保育者(保育士・保育教諭)
回答数	1517 件
項 目	・保育者の属性 ・就業状況 ・保育者としてのやりがいや不満 ・退職経験の有無やその理由 ・現職場の来年度の意向 ・各種意見等
その他	・本アンケートは、(株)マクロミル社『Questan』を活用し、すべて WEB 上で集計を行った。また、別紙資料は各解答に年代別データを掛け合わせる『クロス集計』用いている。 ・大阪市内に勤務する現役保育士による座談会の様子も、別紙まとめている。

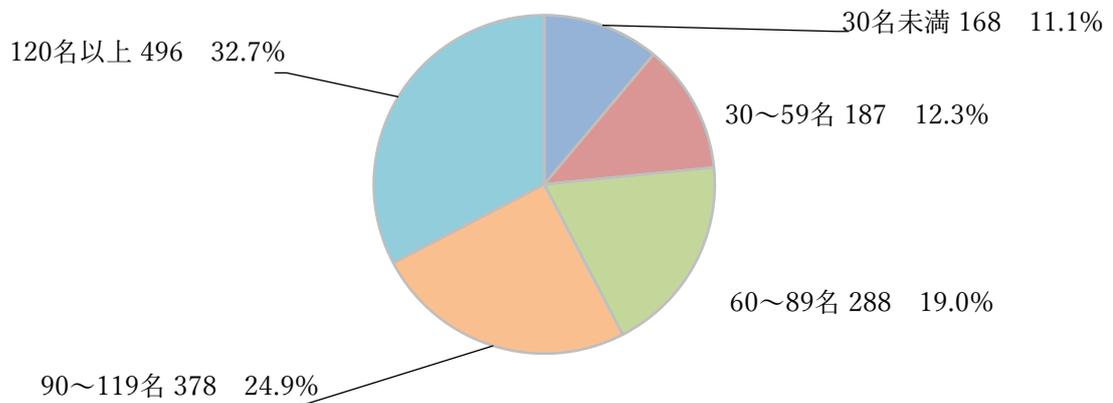
Q1、あなたの年齢を教えてください。



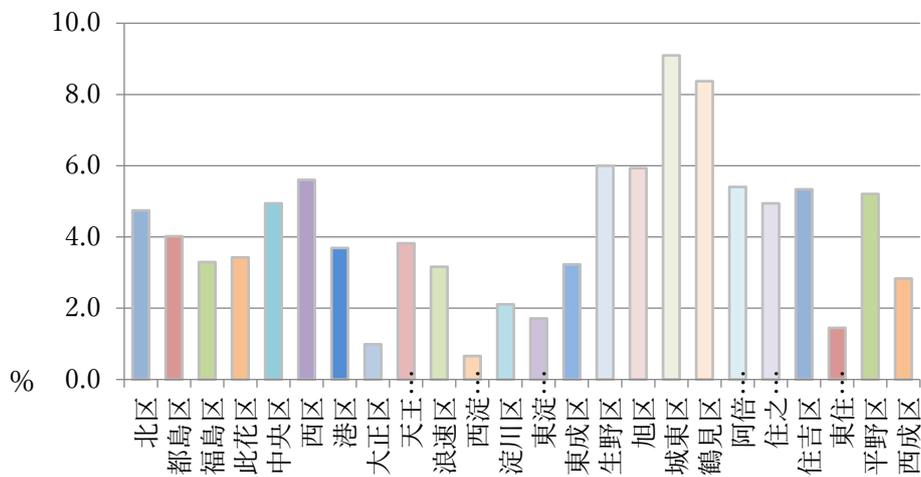
Q2、今現在、お勤め先施設の種別を教えてください。



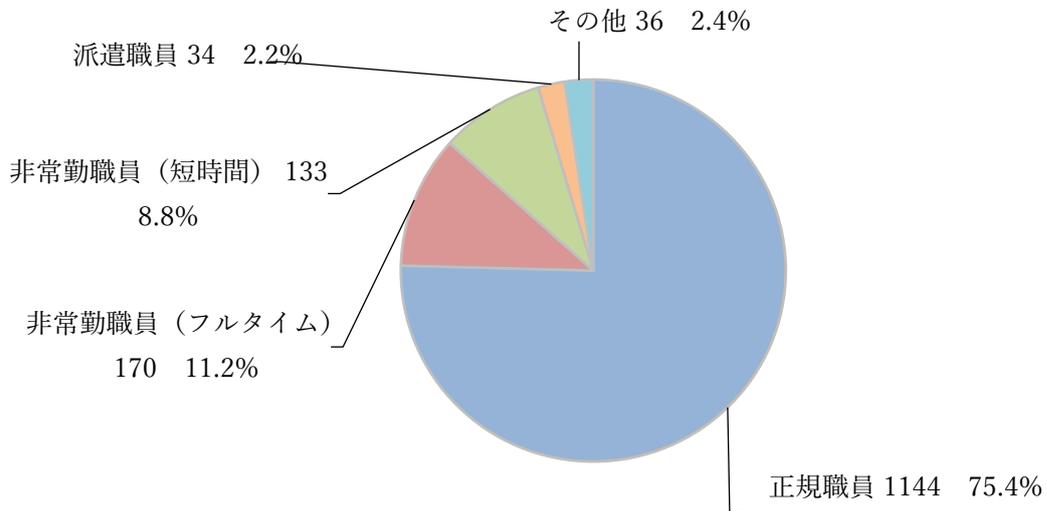
Q3、今現在、お勤め先施設の利用定員数（今年度）を教えてください。*
 認可定員とは異なりますのでご注意ください



Q4、今現在、お勤め先施設の所在地を教えてください。

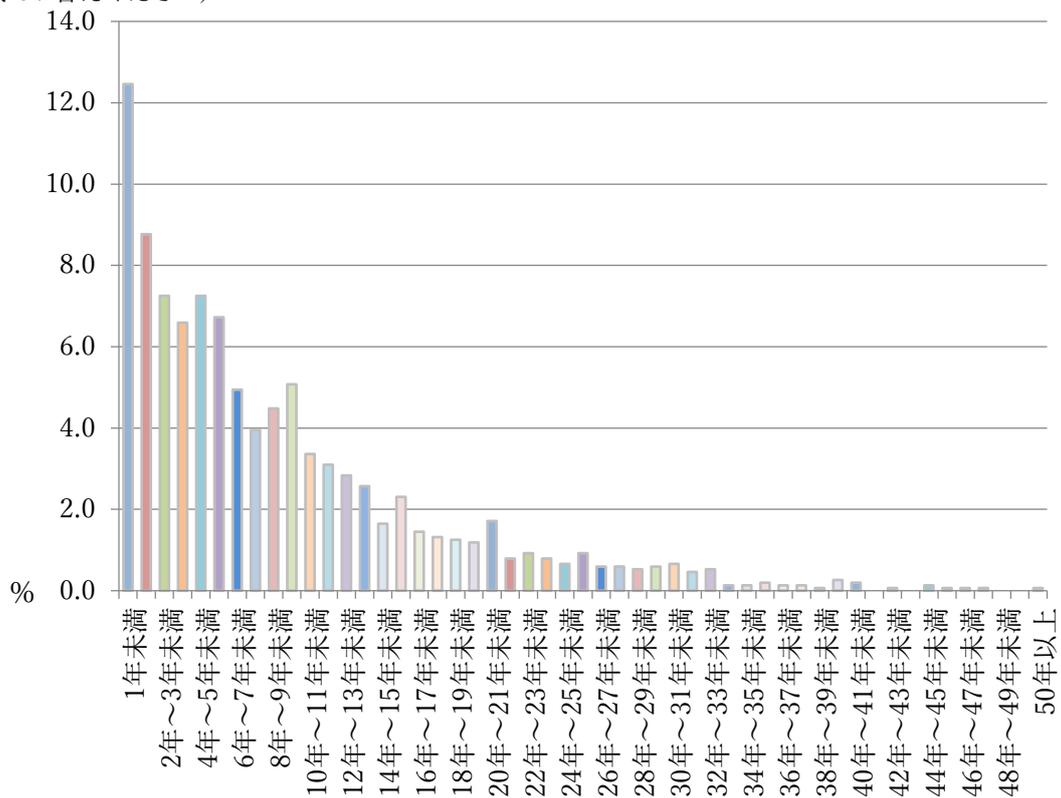


Q5、今現在、お勤め先施設でのあなたの雇用形態を教えてください。



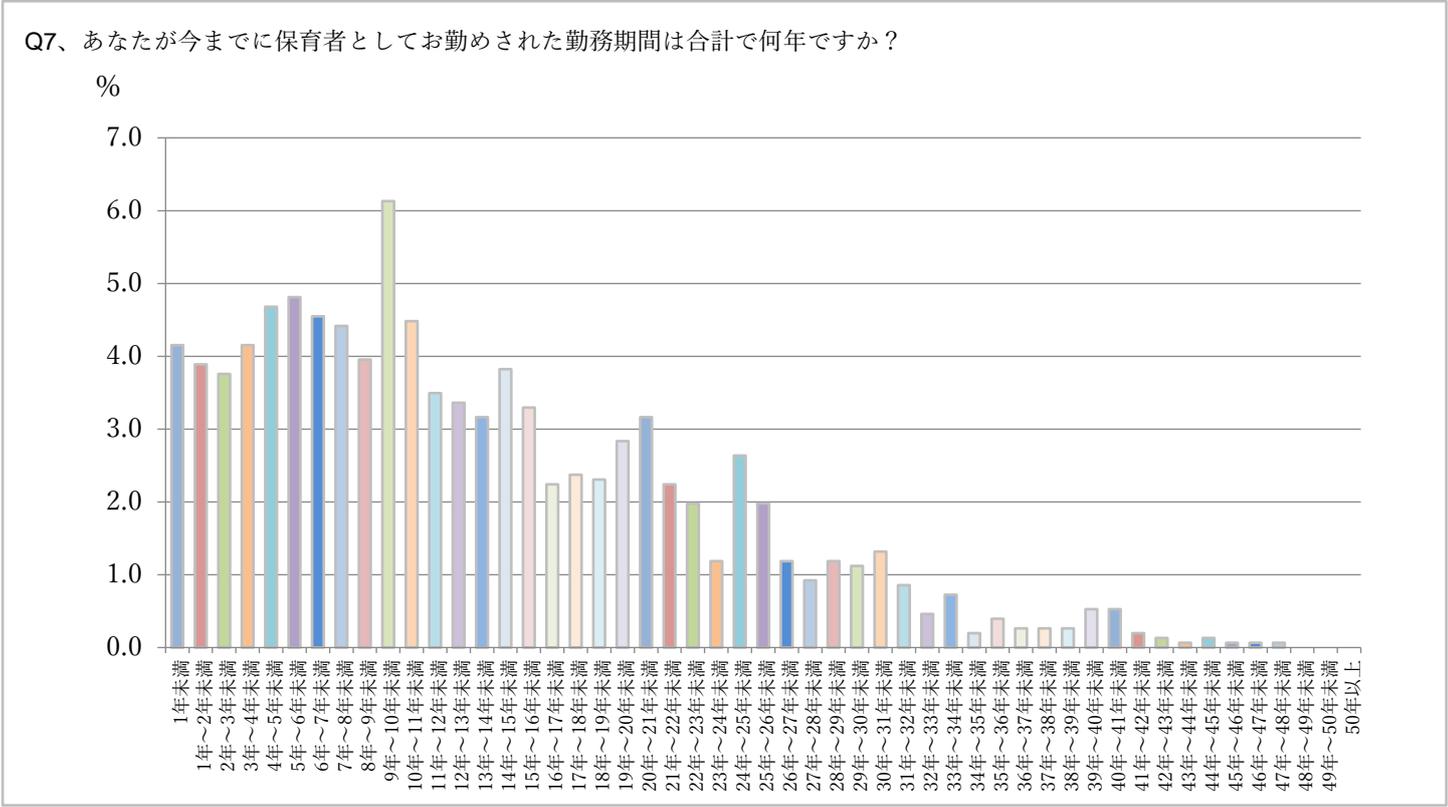
Q6、今現在、お勤め先施設でのあなたの勤務年数は何年ですか？

（同じ法人内で複数施設勤務された方は、現在のお勤めされている法人での合計勤務年数でお答えください）



【考察】

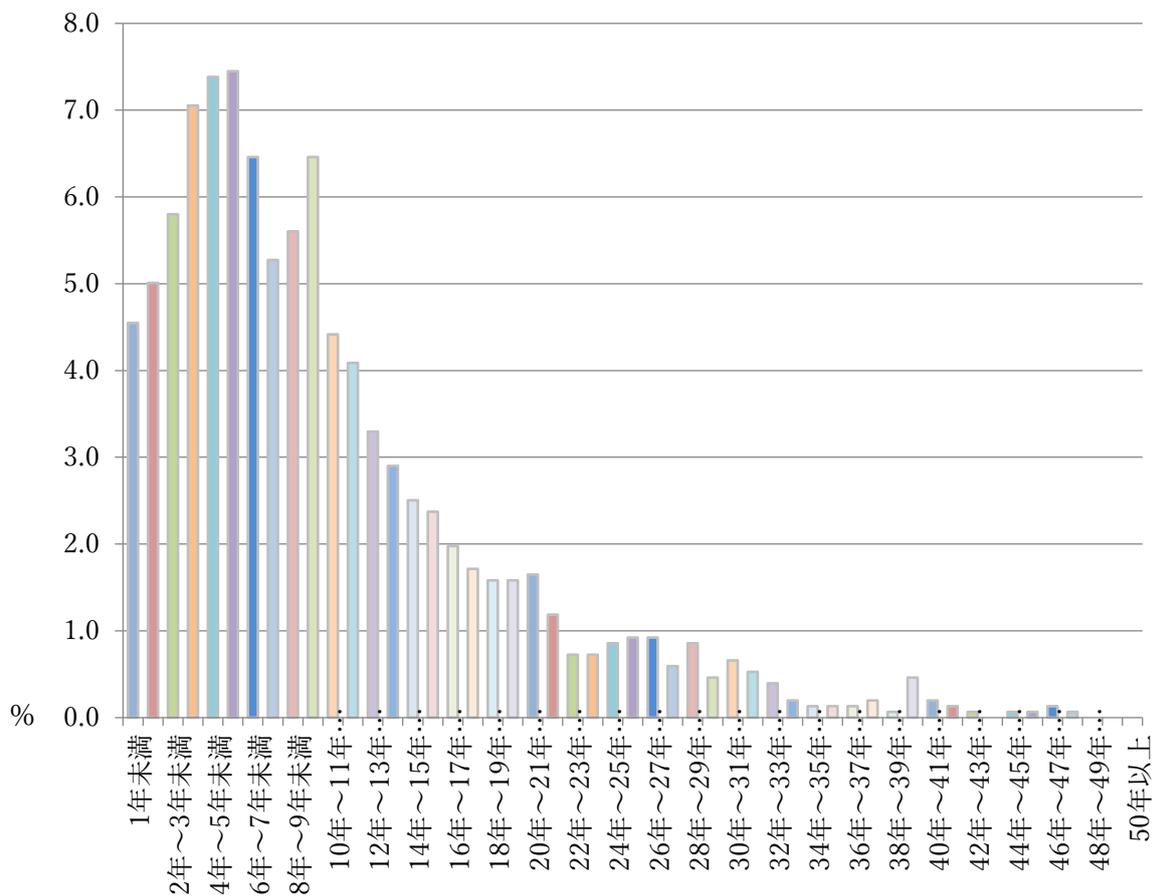
- ・勤めて 1 年未満の職員がグラフから多く見られ、5 年以内の合計になると全体の約 40%を占めている。また、別紙資料1(年代別表)をみると、1 年未満を占める割合は 55 歳上から徐々に増加傾向にある。また、25～29 歳の年齢層が 2 番目に多くっており、転職を経験している保育士が多い事が読み取れる。
- ・節目の 4～7 年継続職員に関しては、25～29 歳が 10% 前後程度で 1 番多く、後は図のように、年齢を重ねていくにつれ、下がっている。



【考察】

- ・9～10 年目をピークに数値が下がってきている。一番多い 9～10 年目の年代別では、30～34 歳、35～39 歳がもっとも多い。また、転職率に関してはアンケート回答者の約半数みられた。
- ・ただ、40 代以降で保育経験が長いほど転職率が高く、いかに一つの園で長く務めることの難しさを感じる。

Q8、あなたが、今までで保育者としてお勤めされた施設の中で、勤務年数が長い施設は何年ですか？（同じ法人内で複数施設勤務された方は、法人での合計勤務年数でお答えください）



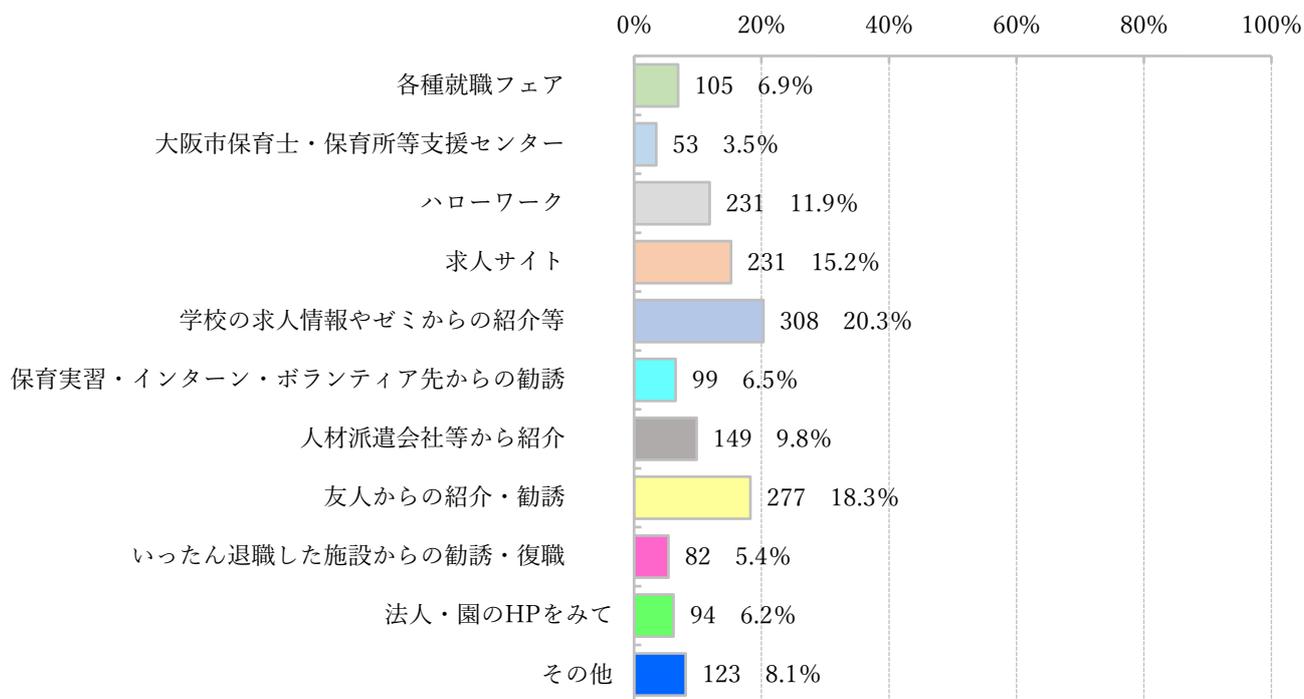
【考察】

・4～6年がピークに来ている事から転職している事、また継続して1つの場所に働き続けることが難しいと読み取れる。ただし、10年目前後がまた数値を伸ばしているのは、ある一定数継続して勤務している事もみてとれる。また、Q7での数値がQ8の8～10年にも反映されているように感じる。

Q9、今現在、お勤めの先施設への就職のきっかけを教えてください。

5つ以内で選択してください

(その他での複数回答可)



【その他】

- 施設に直接電話で求人情報を確認した。 ●学校からの紹介でバイトをしていたので。
- 公立保育所から民間委託の際に、法人の採用試験を受けた。 ●転職エージェントの紹介。
- 子どもを預けてる園から法人内の施設を紹介してもらった。
- 卒園児。(意見多数) ●新聞広告、折込チラシ。(意見多数) ●法人内の異動
- 施設に貼ってあった募集チラシを見て、園の掲示板を見て。(意見多数)
- 保育実習園、ボランティア園。
- 園長先生から声をかけられて、派遣先の園長先生から勧められて。(意見多数)

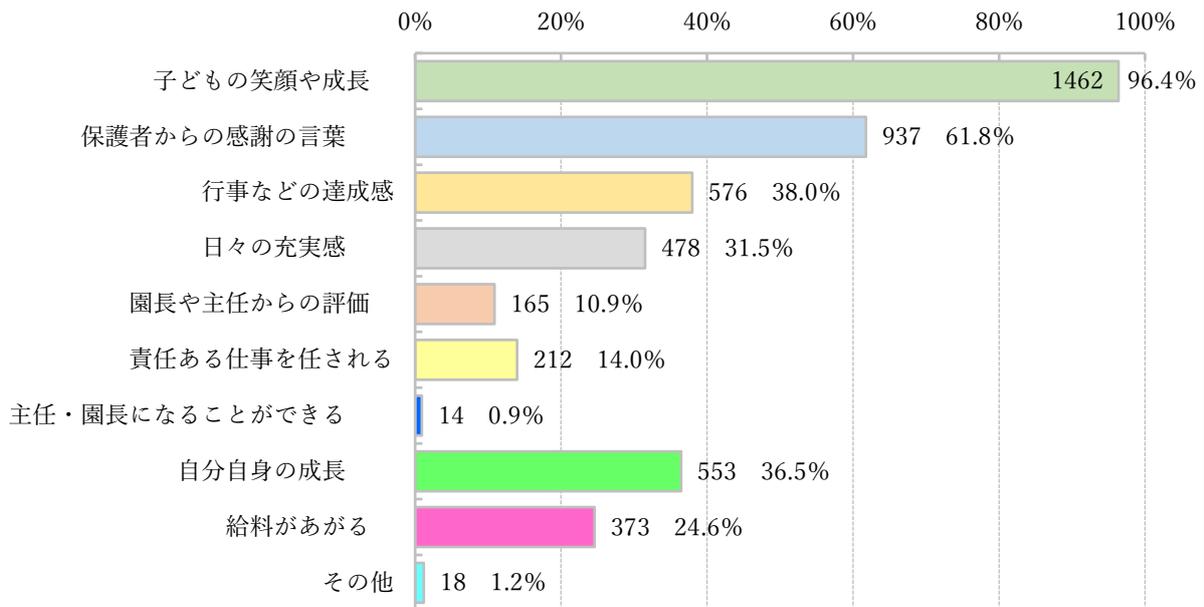
【考察】

- ・『就職フェア』の数値はそこまで高くないが、年代別で見ると20～24歳では『就職フェア』の数値が23%程度と高くなっており、主に20～34歳の年代が集中して就職フェアを利用している。また、25～39歳を中心に人材紹介活用の数値が見られ、いかに直接話を聞ける場が大切か分かる。
- ・『学校からの情報・紹介』の比率では、当然のごとく20～24歳が圧倒的に多いが、全体

的にも高い数値が見られた。

・『友人からの紹介、勧誘』において、年齢が上がるほど数値が高くなっている。

Q10、あなたが保育者としてのやりがいや、喜びを感じることを教えてください。5つ以内で選んでください
(その他での複数回答可)



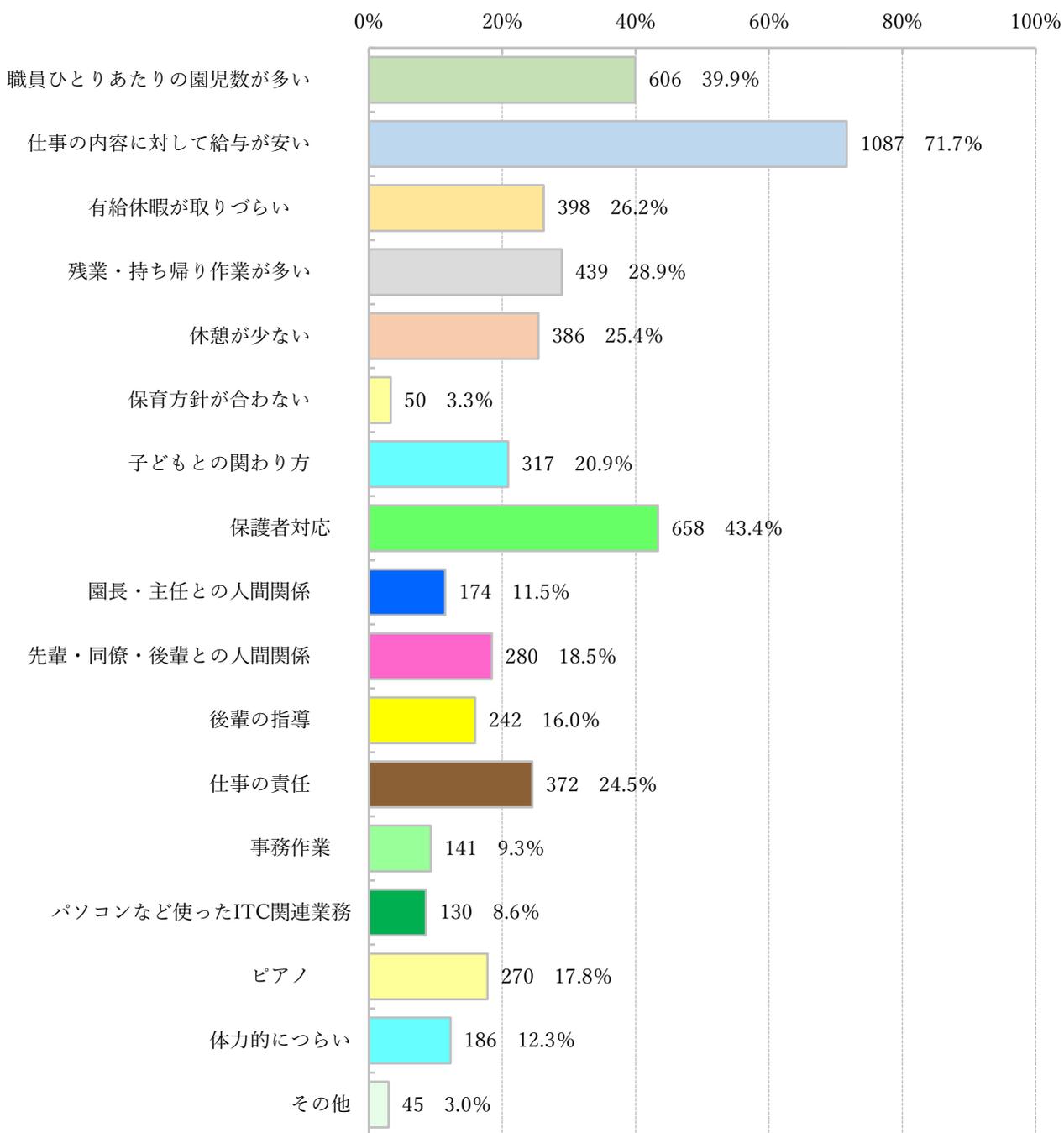
【その他】

- 子どもが楽しんでいる姿を見ると嬉しい。
- 職員同士での連携による保育実践で得られる達成感・研修、研究。
- チームワークの良さ。(仲良くやっていける)
- 社会に貢献している。
- 他クラスの先生たちから褒めて頂いた時。
- やりがいや喜びを感じていないため選択できません。

【考察】

- ・予想した結果となったように感じる。(子どもの笑顔、成長)
- ・ただ、『保護者からの感謝の言葉』は高いが、『園長や主任からの評価』に関しては、約10%程度となっている。また、『主任・園長になることができる』に関しては、0.9%(約100人に1人)の割合となっており、管理職に就くことを積極的に求めておらず、現場へのこだわりが強いようにも感じる。
- ・『給料があがる』の項目では、全体の25%となっており、保育士の処遇が少しずつ上がってきているようにも感じる半面、半数以上は満足していないとも捉えられる。

Q11、あなたが保育者として大変なこと、難しいと感じることを教えてください。
 5つ以内で選んでください
 (その他での複数回答可)



【その他】

- 同じクラスの中で子どもたちの発達の違いが大きく違い、個々に丁寧に対応したいが集団で活動する為、中途半端な対応になる時もある。クラスの職員配置人数が増えたら嬉しいと思う時がある。
- 住宅補助が1年目はもらえるのに、8年目以上はもらえない。それを合計すると1年目より給料が安いことになり、やってられない。
- 昔と違い、あれは危険、あれはダメが多過ぎて、本来の子どもたちの遊びに制限がかかりすぎている。
- 全て。保育現場の責任が重すぎる。ニュースにすぐなる。子どもをみることがこわい。
- 給料が低いわりに、命を預かっているという責任の重さ。待遇が悪い。
- 有給消化を勝手に決められる。残業するのが良しとする空気感がある(残業代が出ないこともある)。
- 国が保育の重要度を理解していないため世間からの関心が低い。

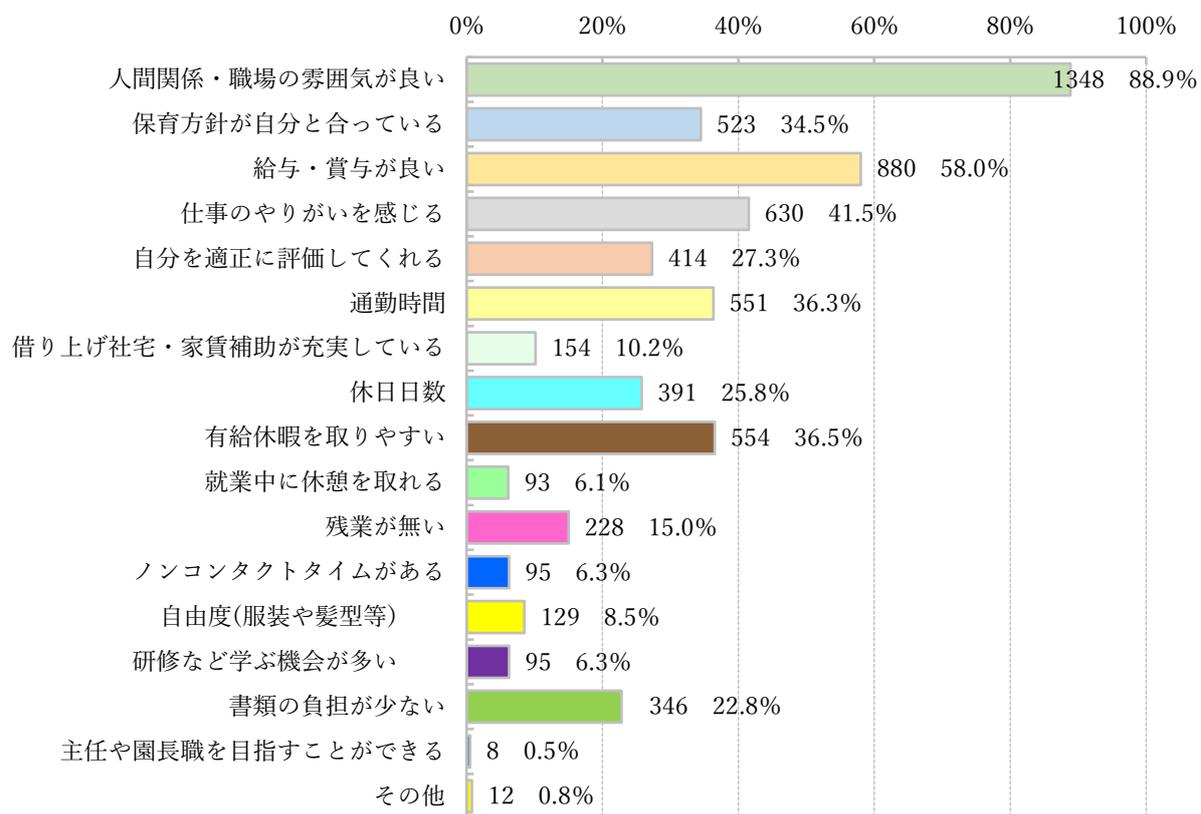
【考察】(別紙資料③)

- ・ Q11 の『やりがいを感じる』の中で、『給料があがる』が25%程度に対し、Q12 では『仕事の内容』に対して『給与が安い』は70%程度となっており、保育士の処遇改善はまだまだ必要であるように感じる。
- ・ 『職員ひとりあたりの園児数が多い』『有給休暇』『残業・持ち帰り』『休憩が少ない』等においては、保育現場における労働環境改善の必要性を強く感じるが、実際はまだまだ認識不足とも見て取れる。
- ・ 『保護者対応』も難しいと感じる中、記述回答にも多くみられた近年の『不適切保育』というキーワードがより難しさ、大変さを感じる要因となっている。
- ・ また『園長・主任との関係』は、40～44歳をピークにさがっており、『先輩・同僚等の人間関係』の難しさにおいては、全体的に平均的な数値となっており、どの年代でも悩んでいる事がうかがえる。

Q12、あなたが保育者として働くために重視することを教えてください。

5つ以内で選んでください。（その他での複数回答可）

* 選択肢中の「ノンコンタクトタイム」とは勤務中に園児と離れて（いない場所で）業務を行う時間のこと



【その他】

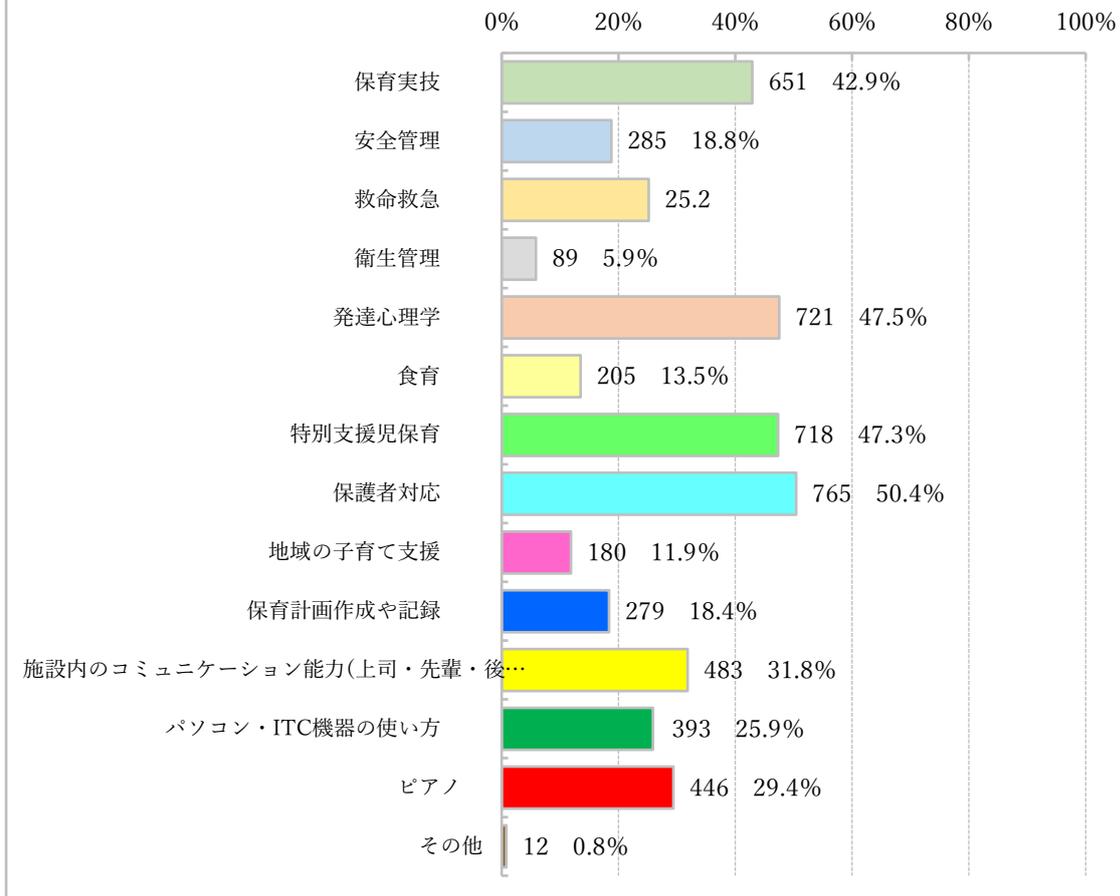
- 子育てしながらでも柔軟な働き方ができる。
- 自分自身が成長できる場所である。
- 仕事に見合う給料、休みの保障(心身共に休みたい)、サービス残業が無い(残業した分の保証)。

【考察】

・働くために重視することとして、『人間関係・職場の雰囲気が良い』との回答が多く見られた。『保育方針があっている』より、いかに保育者同士の良好な人間関係と、より良い雰囲気の中で、子どもの育ちを見守る環境が大事かを見て取れる。

Q13、あなたが、保育者として継続して働くために習得したい知識や技術を教えてください。5つ以内で選んでください。

(その他での複数回答可)



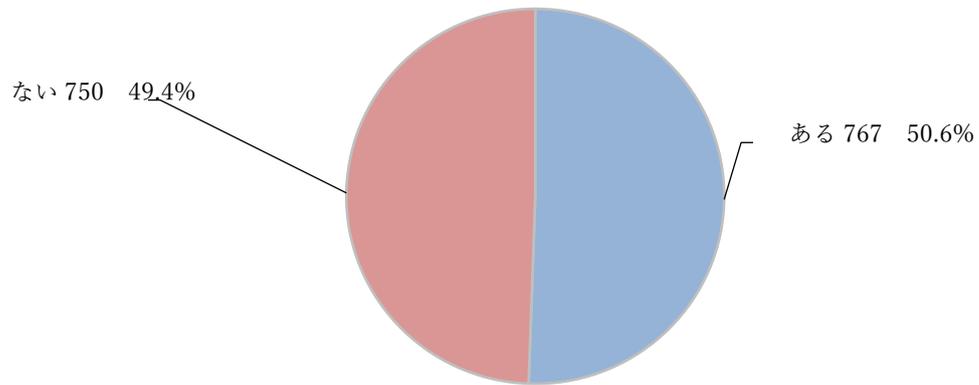
【その他】

- メンタルヘルス、人として成長できるよう自分磨き。
- 療育、インクルーシブ保育。
- バスの運転技術。

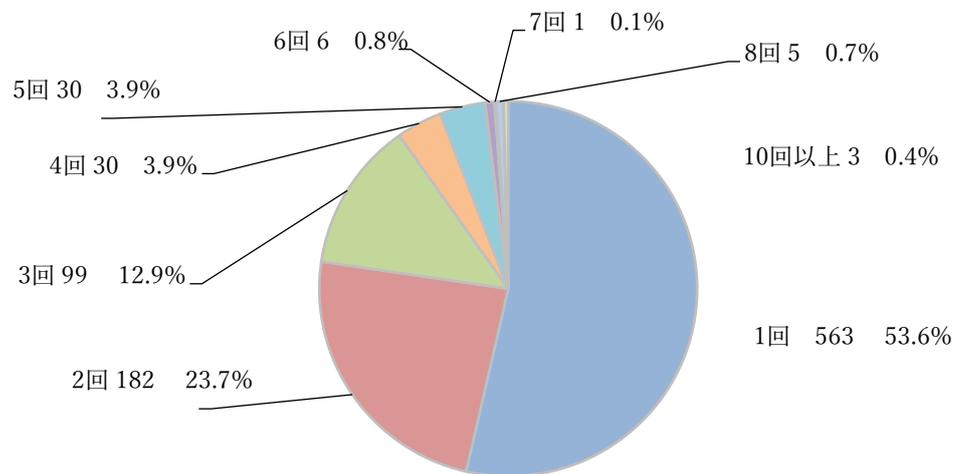
- ・ 1位 保護者対応 2位 特別支援 3位 発達心理 4位 保育実技
- 5位 コミュニケーション能力

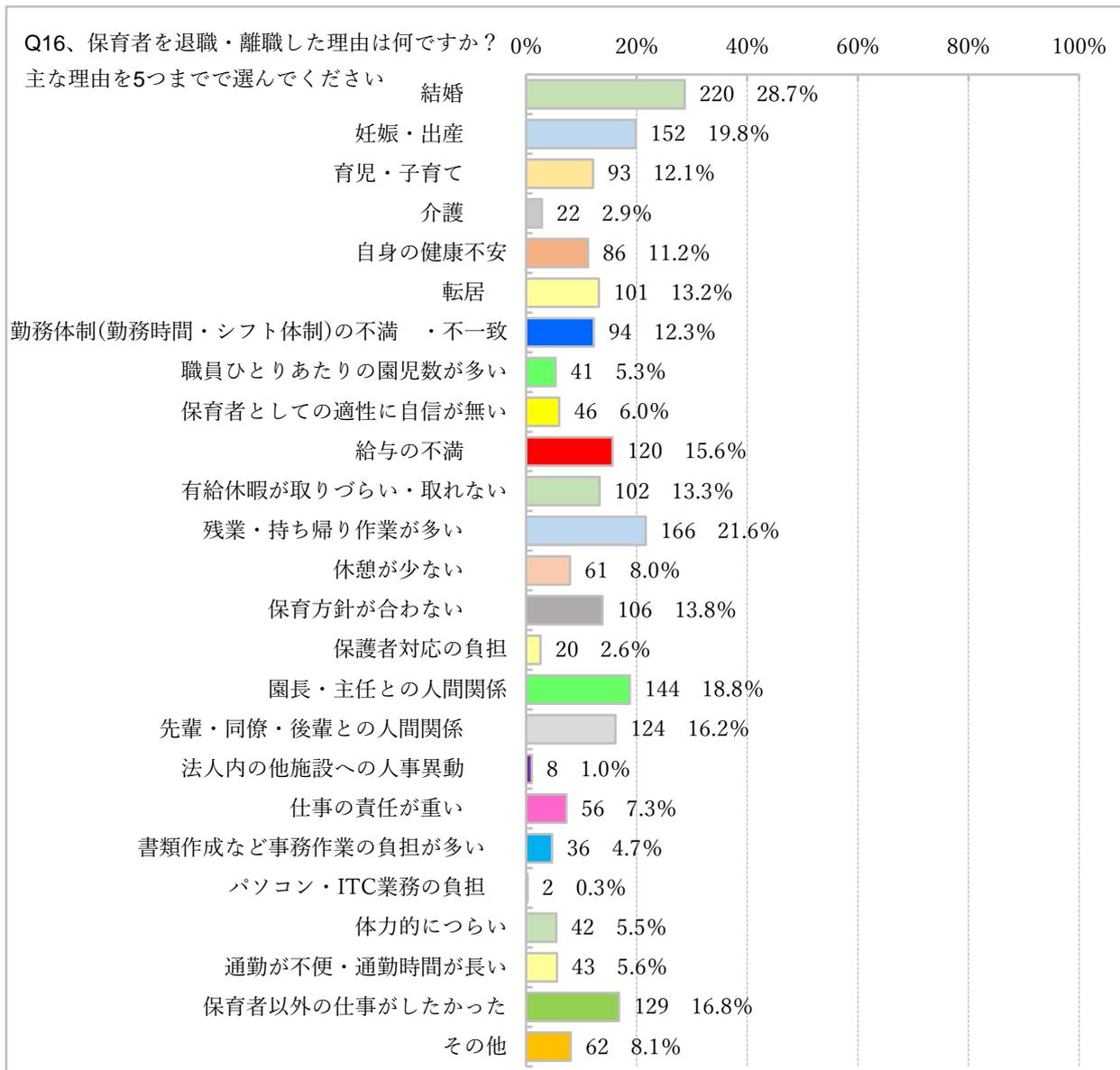
※ 対人援助等に不安を持っている職員が多い。

Q14、保育者の仕事を退職・離職した経験はありますか？



Q15、退職・離職したのは何回ですか？回数を選んでください。





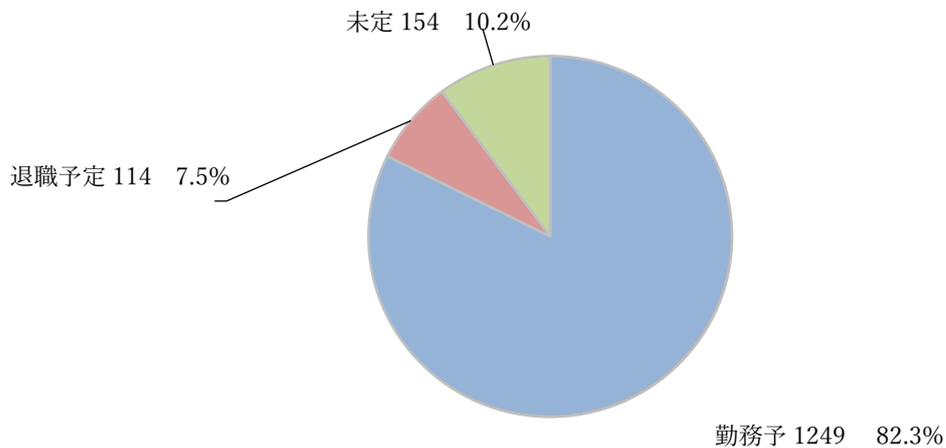
【その他】

- 派遣期間終了。
- 不適切な保育をしている園だった。
- 上司によるパワハラ。
- 意見を聞き入れてもらえず、話し合いが出来ない環境だったから。
- 自身の勉強のため。
- 長期のリフレッシュ休暇が欲しかった。
- もうこの園で学ぶことは無いと思ったから。
- 主任にならざるを得ない環境で受けたが、主任としての責任の重さ。

【考察】(別紙資料⑤)

- ・Q11 であったように『有給休暇』『残業・持ち帰り』『休憩が少ない』『給与の不満』等において同じ数値である。特に『残業・持ち帰り』に関しては、20～24 歳代が半数をしめており、35～39 歳をピークに徐々に下がっている。
- ・『園長・主任』『先輩・同僚等』との人間関係においては、年齢層が若い世代に多く見られ、施設内における良好な人間関係の構築が課題となっている。

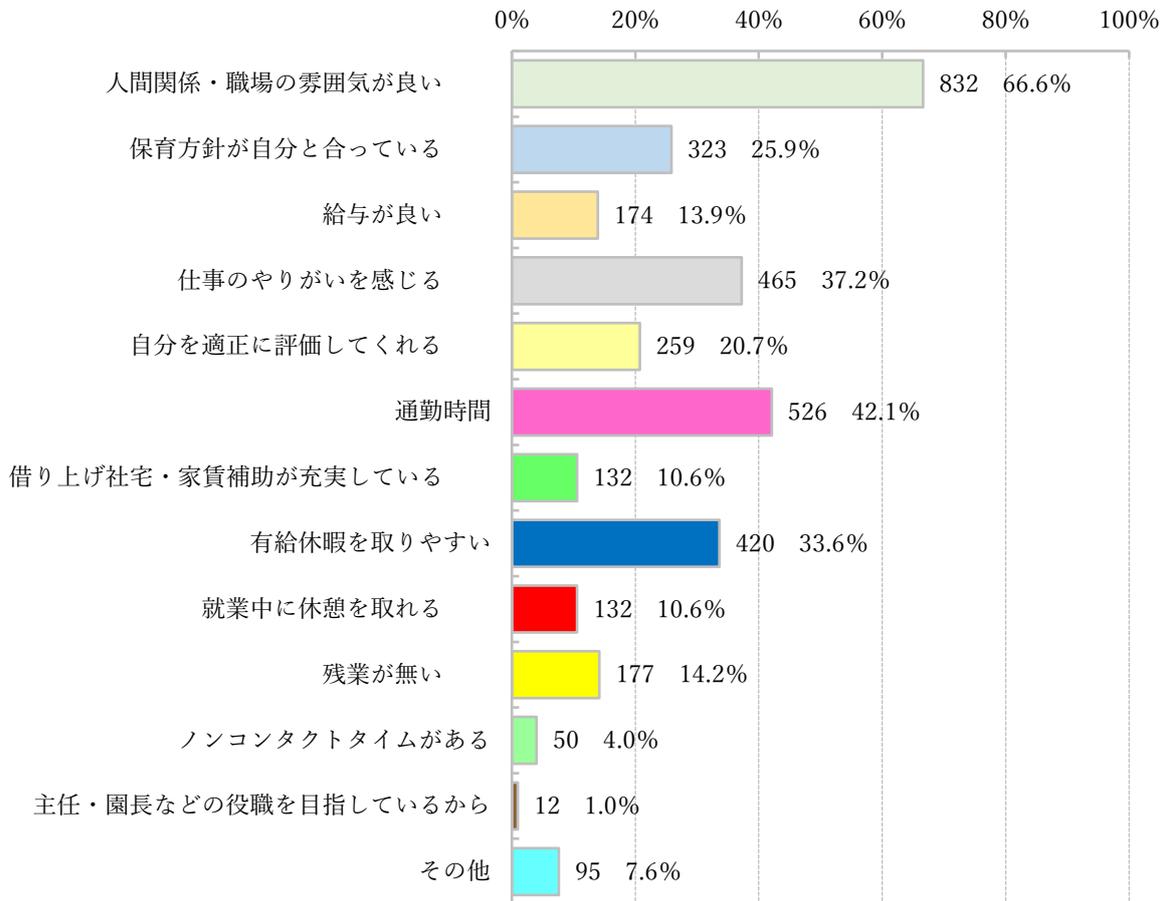
Q17、あなたは、令和6年度、現在の職場を継続して勤務する予定ですか？



Q18、あなたが、今の職場の勤務を継続する理由を教えてください。

5つ以内で選んでください。

(その他での複数回答可)



【その他】

- 担当している子どもの成長が見たい。子どもたちが可愛すぎるから。
- 人材不足なのでやめることが出来ない、言いづらい。
- 管理職が変わったので、保育園の大改革に期待しているから。
- 来年度は今のクラスを持ちあがりと一緒に進級することが決まっているから。
- 相談に乗ってくれる人、話を聞いてくれる人、アドバイスをくれる人が多いので、その人たちと仕事がしたい。
- 5年間働いたら奨学金がもらえるため。
- 夜間学校との両立が可能のため。

- 特にやめる理由がない、生活のため、就活が面倒くさい。
- 髪型が自由、自己表現が出来る。

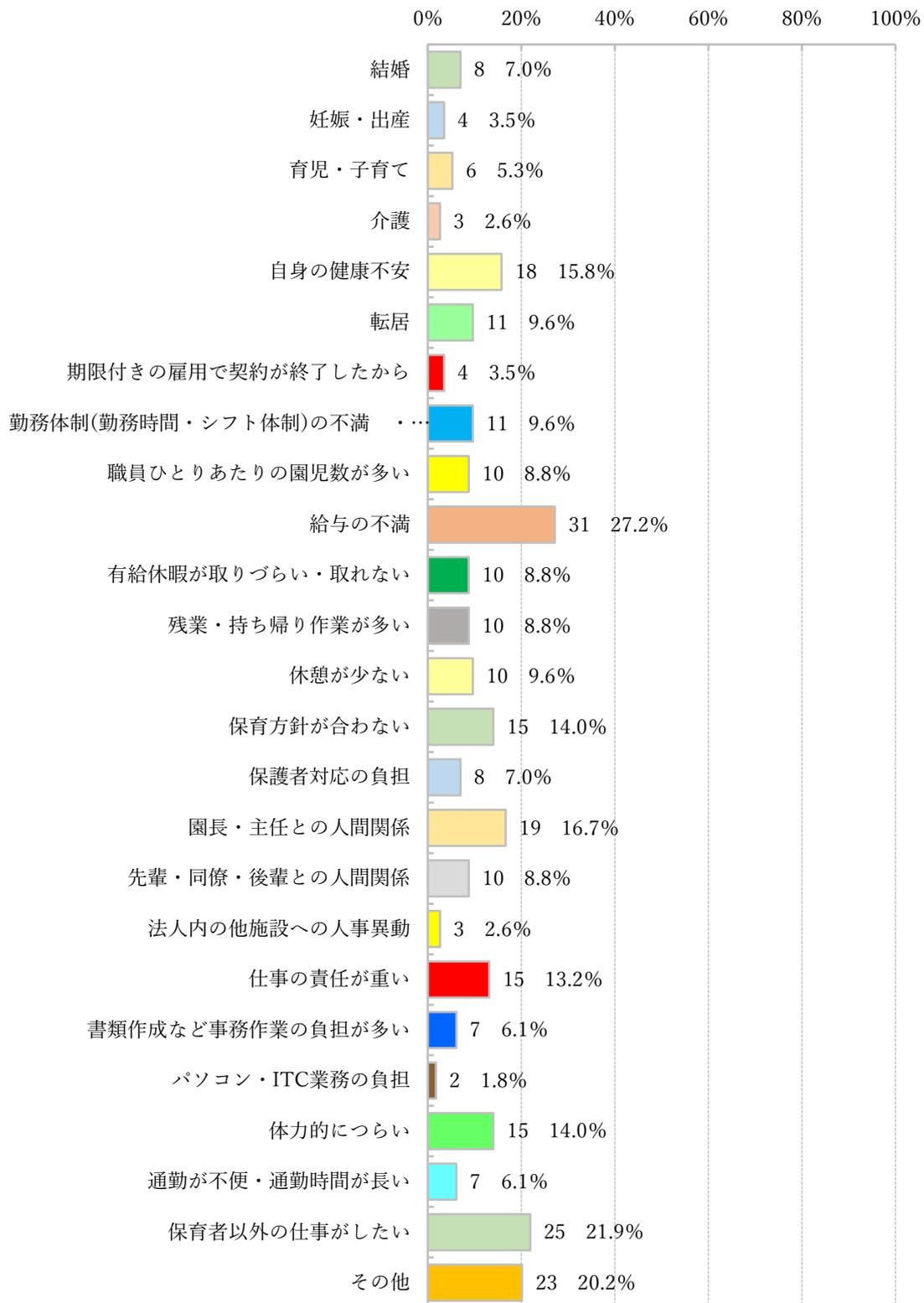
【考察】(別紙資料⑥)

- ・1番は『人間関係・職場の雰囲気が良い』である(Q12等でも同じ)。給与面より、いかに人間関係が良好か、職場の雰囲気が大事か、保育をしやすいかが、保育現場にとっては重要である。
- ・2番目に『通勤時間』が入っており、年代関係無く高い数字となっている。
- ・『仕事のやりがいを感じる』に関しては、年齢が上がるほど高くなり、『借り上げ社宅等』については、若い世代に多くみられた。

Q19、あなたが、今の職場を退職する理由を教えてください。

5つ以内で選んでください。

(その他での複数回答可)

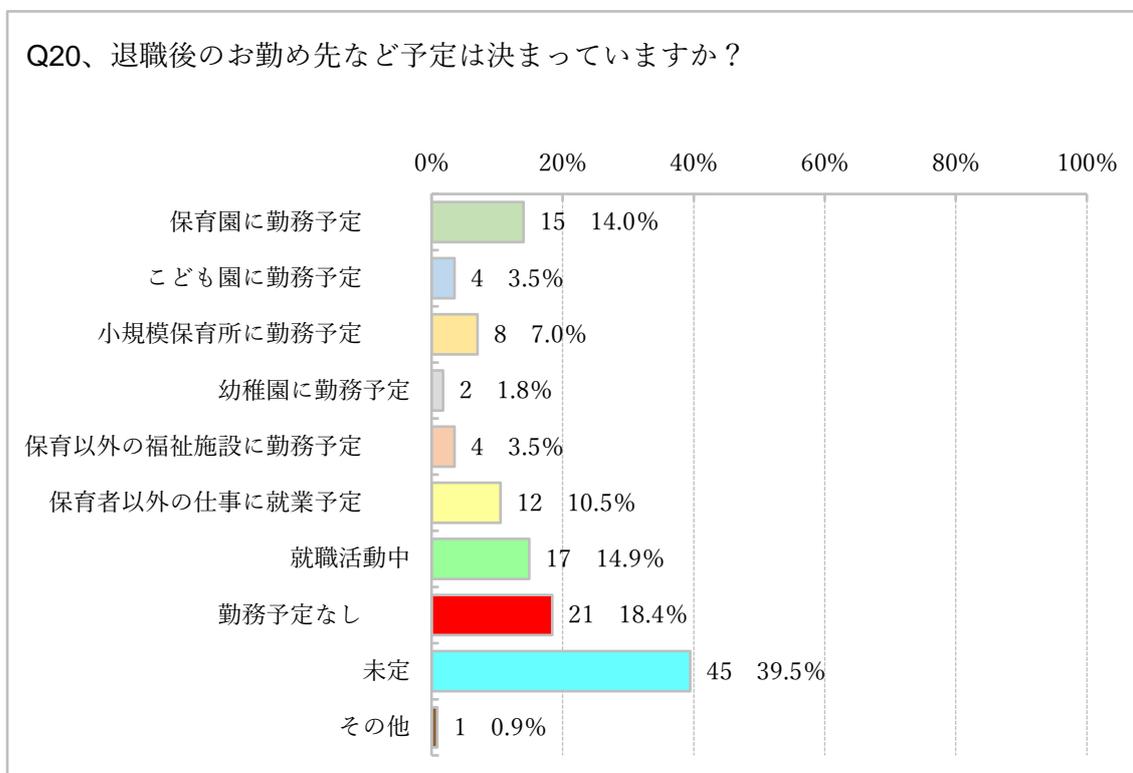


【その他】

- 8年以上の勤務で住宅手当が出ない。勤務年数等は1番上なのに合計すると給料は1番低い。
- 他園の保育も学んでみたい。
- 仕事にやりがいを感じられない。
- 事業拡大に伴い働きづらい環境に変化してきた。
- 他園からのお誘いがあった。

【考察】(別紙資料⑦)

- ・『給与の不満』が1番多く、やはり処遇面においては、まだまだ改善が必要である。(Q11,12,16)
- ・4番目に多いのが、『園長・主任との人間関係』となっている。また、Q18では『職場の雰囲気』が1番の理由に挙がっており、やはりそれらを作っていくのが園長・主任等と考えると、管理職の責任は重いと感じる。ただ、5番目の『保育方針が合わない』が挙がっており、方針の違いが4番目の数値に繋がっている事とも考えられる。
- ・『勤務体制』や『園児数』『有給・残業等』においては、人材不足が直接的に影響していると考えられるが、現在の制度の中で書類の簡素化等とも必要性と考える。



Q21、保育士不足のいま、現場で働く保育者として人材確保や離職防止についてご意見があれば聞かせてください。(例:これまでの勤務経験で働きやすいと感じた事や要望など)

【やりがい・魅力】

- 子ども達の成長を間近で感じられるのはとても嬉しく毎日「可愛い」「凄い」「できた」等ポジティブな言葉がたくさん飛び交う環境で仕事ができるのはとても幸せです。
- 子どもが大好きで頑張って資格を取りました。保育士という仕事としての地位の向上を願っています。
- コロナで研究・研修の機会が減り、保育実践や専門職としてのやりがいについて適切に伝えることが出来ていないこと。虐待などもそのために起こっていると思っている。こんなにやりがいのある、未来につながる仕事であることをちゃんと伝えていくことが必要だと思う。
- 子どもの成長のすばらしさや保育の良さを学生に教えて、保育士になりたい気持ちを持てるようにして欲しい。
- 子どもの成長を願い、日々の笑顔を見る事ができる事で、保育現場で働くことにやりがいを感じる事ができる。すべての園がそんな園になると良いですね。
- 大変な仕事だけど、子どもとの日々どんな楽しさや喜びを感じられるか。それらを見つけていければ素晴らしい仕事だと思う。
- 透明化であったり、専門性の向上でのキャリアアップであったりを求められ、純粋な子どもとのかかわりをできないイメージがあるように思います。仕方がない半面、楽しさや続けるモチベーションも半減されているように思います。
- 保育現場で働きながら思うのは保護者支援や子供の育ちを支える為に日々知識を入れいくことが必要だと強く感じる。その一方で待遇や労働環境は変わらないのに求められる事が増えるばかりで辛い。一瞬で過ぎてしまう子どもの成長が間近で見れ、未来を感じる尊い仕事なのに環境のせいで辞めてしまう人が多くとても残念に感じる。

【処遇・給与】

- 仕事にやり甲斐は感じています。しかし、日々命を預かる仕事としているんなことに気を付けていますが、それに見合った給料ではなく安いです。
- 基本給をあげる。年間休日を多く取れるようにする。保育士一人当たりの子どもの人数を少なくする。
- 命を預かる重労働に給料が見合っていないと思います。宿舎借り上げなど一部の人の給料は上がったようにしているが、それよりも、保育士全体の底上げを願います。潜在保育士を現場に戻すには、今のお給料では、今もこれからも到底なり手が無いと思います。極端に底上げをし、メディアで取り上げ、大変な仕事だけど賃金が高いとなれば、やってみようと思う

人が出てくるのだと思います。

●給与額、保育以外のことをする余剰の人手、ノンコンタクトタイムが取れる体制、年休が確保できる体制がすべて揃わないと、離職防止は難しく、離職防止をしないと質の向上は望めないと考えています。

●新しい人たちに続けてもらうため、国や園のその人たちへの処遇は厚い。だが、昔から自己犠牲をしてきた人たちへの処遇の改善は、あまりされていないように感じる。また、子どもファーストではなく、保護者ファースト過ぎて職員や子どもへの皺寄せがすごい。事故防止はもちろんだが、書類も減らすといいながらも減らせない現状で、勤務時間内に休憩や書類を終わらすのは不可能に近い現状をわかってくれている。仕事の出来る人への皺寄せがいつている現状は変わっていない。

●完全週休 2 日制であること。幼児クラスも複数担任であること。ノンコンタクトタイムがあること。

●有休をとりやすく有休消化率をあげる。いまは園指定の有休消化しか出来ていない。

●保育士の世間的な立場が上がれば、続く人も戻ってくる人もいないのでしょうか。

●人間関係に関しては、いろいろな園の方針がある為どうにかなる事ではないと思いますが、命を預かる仕事なのにも関わらずやはり低賃金なのがしんどいです。監査など来られますが、その辺の見直しは一度もされた事はありません。

●明確な昇給の金額の提示。

●民間保育士勤続手当 20 万支給されるということですが、どうして全員がもらうことが出来ないのでしょうか?ちなみに私は 8 年目でもらえません。5 年以上全員がもらえるなら納得いきます。是非改善してほしいです。保育士をやめようかなと思ってしまいます。改善よろしく願います。

●保育士への給料は処遇改善によりUPしてきましたが、役職に就くとそれ以上あがらず、後輩などの給料が追い付いてきています。

●保育士のメンタルケアを実施する。

●キャリアアップに不満があります。現場でバリバリ保育ができる人がキャリアアップを受講していない為に給料が安いのは、おかしい話です。

【人間関係】

●人間関係が良いことが、一番だと思います。励まし励まされて頑張ってみようと思えると思います。否定ばかりや問い詰められるとしんどくなります。

●離職防止は、やはり人間関係ではないかと改めて感じる。自分のことを理解してくれる人が同僚の中にいるこそ、チームで仕事ができると思う。一人じゃないと感ずることができる。

●本当に辛くなった時に、園長主任が親身になり寄り添ってくれた。上司が理解を示してくれ

ることに本当に心が支えられた。また、話せる同僚がいた事も大きい。学びたいと思うことが学べて、生かせる職場でやりがいを感じている。やはり、人間関係の温かさと保育観が大きいと感じる。

- 園長次第で園のすべてが決まると思います。
- 園長先生や主任、ベテランの保育士が経験の少ない保育士の相談に快く応じてくれたり、相談しやすい環境であることが1番だと思う。
- 保育士一人ひとりの個性を認め、否定的でなく、ベテランも新人もお互いの保育を尊重し合える人間関係があれば、人材確保や離職防止につながると思います。
- 人間関係が第一です。同時に、若い先生たちは、社会性を学んで欲しいです。
- 離職防止には、人間関係も大事です。特に、同じ年代や同じくらいの経験を持った同僚の存在は大きいと思います。悩みを気安く話せて一緒に考えて貰えて、誰に相談するべきかのアドバイスをもらえる同僚の存在に私もずいぶん助けられました。
- 自分がしてもらったように丁寧に指導していくことと、私が勤める保育園はクラスに関係なくみんなで協力して助け合うことを大切にしている。
- 現在の園長先生がとても心に余裕のある方で、そのもとで働くことで、なんでも相談しやすく、困ったことがあれば真っ先に話に行く存在であることが働き続けられる1つの要因だと感じている。人間関係のことや困ったことを話しに行くと、必ず反映してくれる。

【配置基準】

- 配置基準や様々な処遇が見直されることもないまま、保育の質だけを良くしようと求められるのがよくわかりません。
- 保育士1人あたりの子どもの数が少人数であれば、もう少し余裕のある保育ができるのと日々感じています。
- 配置基準の変更。幼児もだが特に0歳、1歳、2歳を早急に。国の定める基準では、安全な保育をする上で難しいと感じている。
- 各年齢、保育士の対応人数の見直し。発達グレーゾーンの子に対しても人員配置。給与 up。持ち帰りの仕事をしなくてもいいような書類等の簡素化。
- 保育者一人当たりの子どもの人数を減らすことと行事の見直しが必要かと考えます。
- 0歳児3対1等、法律上満たしているが、実際、雑作業に手を取られるので、ほぼ倍の人数をみている時間が多い。午睡中を休息と見られがちだが、掃除に書類、睡眠中の確認など、休憩など全くない状態。
- 低年齢になる程、雑務が多いが保育士の人数がギリギリでは目を離す時間が出来て怖い。雑用をする人を確保してもらえれば保育に集中出来るので助かる。
- 保育士の人数が足りていないことで、休みが取りづらい。保育士に対しての子どもを見る

人数が見合っていない為、怪我也増え、密に子どもとの関わりも出来ない

●発達支援が必要と感じる子どもたちがクラスに数人はいる。他の子どもたちの保育の保障をしながら、支援児をみる事は大変な負担である。支援児の担当の保育者も確保できない現実は、保育の楽しさを分かるまでに退職する職員が増えているのではないか。

●保育士の人数を増やして日々ゆとりを持った保育ができることで、人間感覚も築きやすくなり、働きやすいかと思う。またそうすることで体調不良の時など、急な休暇が必要になった時も気兼ねなく休める体制があることも働きやすさの一つかと思う。

●早急な保育士配置基準の見直し。→災害時に守れる人数ではないから。

●配置基準の改訂！子どもを安全に見守る保育士の数ではない！災害時にどうやって安全に避難させるのか教えて欲しいです。

●大阪市でも早く保育士が余裕を持って保育が出来る環境を整えて頂きたい、それが、今問題となっている不適切な保育の根絶になると思います。

【保護者】

●保護者も保育園のことを理解してほしい。

●近年、保護者や子どもの様子が変わってきている。国として、ネット、スマホ、メディア、等が及ぼす影響をリアルに考え、危惧し、対策しなければ根本的な改善にならないのでは。

●保護者対応も、年々難しくなりメンタル的にも負担は増えた。

●保育園をサービス業だと思っている保護者も多く、要望ばかりで保育士が守られていない。

●保育士不足の中、怪我やトラブルが増え、保護者対応も増える。結果、労働時間も長くなり、体力的にも精神的にも厳しい職業だと思います。

●泣いている子どもへの世間の冷たさ(虐待を疑う等)。保護者、地域と共に子どもの育ちを共有していくことの困難さクレームの多さを感じ保育に専念できない。

●保護者の言えば何でもやってくれるのが当たり前でしんどい。見てくれて当たり前で感謝も減ってきている。

●保護者が年々情報過多になり、すぐに虐待だと騒ぐ世の中で、保護者至上主義な園が多く、子どもとの関わりにしんどさを感じる時がある。保護者の意識も変えていく必要がある。

【その他】

●いろいろな人に保育現場の大変さをもっと知ってほしい。給料も待遇も悪いのに成り手が育つわけない。

●ニュース等で保育士が悪者にされるようなメディアの言い方伝え方。酷すぎます。

●不適切保育ばかりに目を向けられがちだが、反対に保育者を守る制度や給与の底上げ

など、働いている側の意見にもっと耳を傾けてほしい。

●保育士不足は、保育士の資格を持っているにもかかわらず離職し再就職しない人が多いからだと思います。本気で出産、育児を国民にさせたいなら保育士確保は最優先されるべきだと思います。

●報道等もあり世間の風当たりが強く、目指す人間が減るのは当然。

●行事の規模を小さくし、子どもそして職員の負担がないように。職員一人に対しての子ども的人数を少なくし、しっかりと子どもと向き合えるように。保護者から職員に過度な不満や要求があった時、園長など管理者が職員を守るように。

●いかに上司が話を親身に聞いて行動に移してくれるか。

●世の中は不適切保育だ、虐待だと保育士にとってマイナスの印象しか与えない情報しか流れない。

●役所のお偉いさん、現場を見てほしい。

●関東と比べて、給与が少ない。地域手当を大阪府や大阪市が設定し、給付して頂く事を望む。

●服装等の規制をゆるめる。染髪などはある程度良しとした方がプライベートを楽しめると思う。服装や髪形、ネイルなど保育士には禁止事項が多すぎるのも離職率を上げていると思います。

●監査の度に保育士に求める仕事が増えているので、負担になってやめる人が増えていると思う。求めるならそれなりの手当などを充実させるべきです。

●役所などから監査に来られるが、そのために書類をわざわざそろえるのが負担だと思う。なくしてほしい。

●書類などが多く、自宅でも仕事に追われているので自由な時間が少ない。もっと書類を簡素化出来れば良いと思う。

●土曜日の時間を午後6時迄にすること。

●いまの職場では職員が自発的に働きやすいシステム構築に関わり改善してきた経緯があり、それを受け入れてくれた園長・主任がいたから働きやすい。パソコン・ipadなどを活用してICTを導入したことで、仕事の効率が上がったことも大変良かった。

●前の園では書類は殆ど手書きだったが、今の園ではICTでできることが多く、書類の面では効率よくできている。

●メンタルヘルスや福利厚生が充実すること、業務の負担をICT化等で改善出来る事は改善して欲しいです。

以上